

令和7年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

| 学年 実施月日 | | 生徒数 (人) | 平均正答率(%) | | 平均無解答率(%) | |
|------------------|-----|------------|----------|------|-----------|------|
| | | | 国語 | 数学 | 国語 | 数学 |
| 3 年 4月16日・17日 | 学校 | 190 | 53 | 48 | 5.9 | 10.0 |
| | 大阪市 | — | 52 | 46 | 6.8 | 11.2 |
| | 全国 | — | 54.3 | 48.3 | 6.7 | 10.6 |

| | 平均IRTスコア |
|-----|----------|
| | 理科 |
| 学校 | 531 |
| 大阪市 | 489 |
| 全国 | 503 |

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

(国語)

全国平均・大阪府平均と比較し、ほとんどの領域において平均正答率は、ほぼ同程度であった。「読むこと」の領域では全国平均・大阪府平均を上回った。日頃から読書習慣を身に付けるために、朝の学習タイム等での読書や授業時に重点的に音読を実施している成果があったものと考ええる。

(数学)

全国平均・大阪府平均と比較し、ほとんどの領域において平均正答率はほぼ同程度であった。「数と式」の領域では全国平均・大阪府平均を上回った。日頃から生徒が自ら考え、答えを導きだすように心がけ指導をしている。また、計算問題を中心に朝の学習タイムや授業時において計算問題を重点的に実施した成果があったものと考ええる。

(理科)

全国平均・大阪府平均と比較し、ほとんどの領域において平均正答率上回った。一人一台端末を利用した調査であったが、当日はトラブル等もなくスムーズに実施することができた。

< 今後に向けて >

(国語)

「読むこと」の領域では全国平均・大阪府平均を上回ったことから、今後も読書習慣を身に付けるために、朝の学習タイム等での読書や授業時に重点的に音読を実施していく。また、「書くこと」の領域では今後、授業で自分の意見や考えを書いてまとめ、班活動等で互いの考えや意見を共有し合う言語活動を実施する。

(数学)

今後も計算問題を中心に朝の学習タイムや授業時において重点的に実施していく。また、今まで以上にICTを活用し、図形の理解を深める。生徒が互いに教え合い学びを深める学習等を実施する。

(理科)

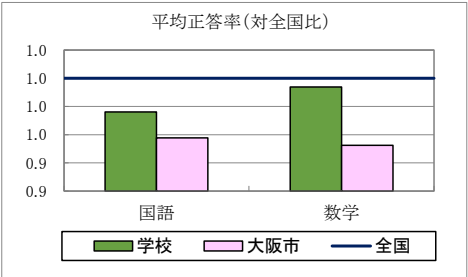
今後も、毎時間の授業を大切にするとともに、家庭学習にも力点をおき実施していきたい。

令和7年度 城陽中学校のあゆみ
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

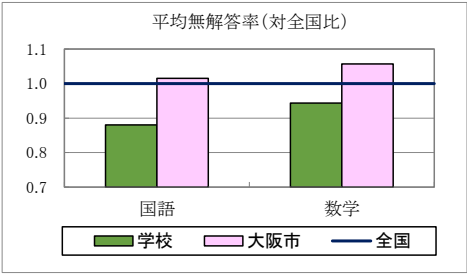
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

| | 平均正答率(%) | |
|-----|----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 53 | 48 |
| 大阪市 | 52 | 46 |
| 全国 | 54.3 | 48.3 |

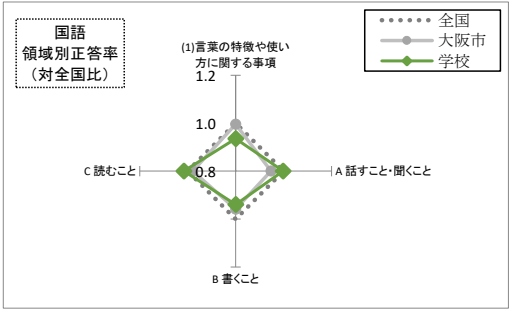
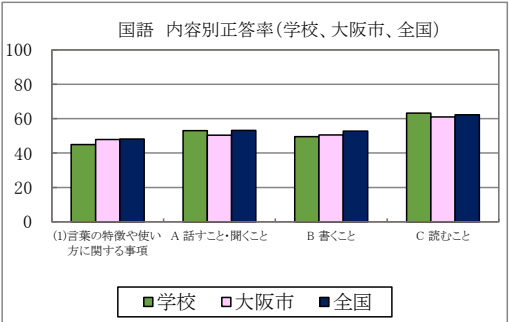


| | 平均無解答率(%) | |
|-----|-----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 5.9 | 10.0 |
| 大阪市 | 6.8 | 11.2 |
| 全国 | 6.7 | 10.6 |



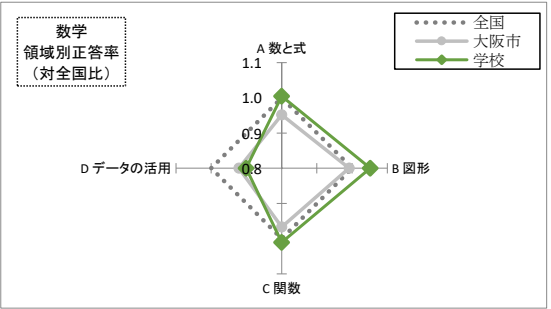
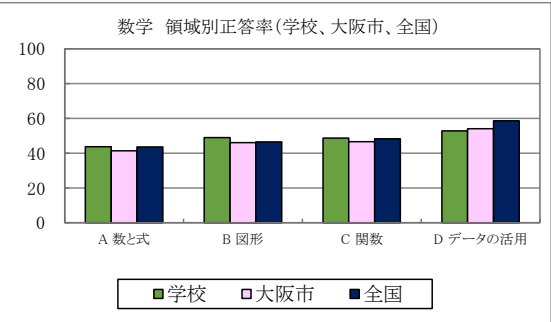
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い 方に関する事項 | 2 | 45.0 | 47.9 | 48.1 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 0 | | | |
| (3)我が国の言語文化 に関する事項 | 0 | | | |
| A 話すこと・聞くこと | 4 | 53.1 | 50.4 | 53.2 |
| B 書くこと | 5 | 49.6 | 50.6 | 52.8 |
| C 読むこと | 3 | 63.3 | 61.0 | 62.3 |



【 数 学 】

| 学習指導要領の 領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と式 | 5 | 43.7 | 41.4 | 43.5 |
| B 図形 | 4 | 48.9 | 46.1 | 46.5 |
| C 関数 | 3 | 48.7 | 46.6 | 48.2 |
| D データの活用 | 3 | 52.8 | 54.0 | 58.6 |

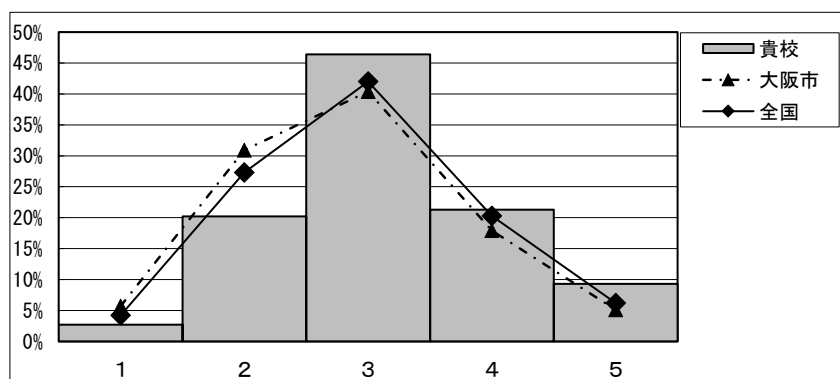
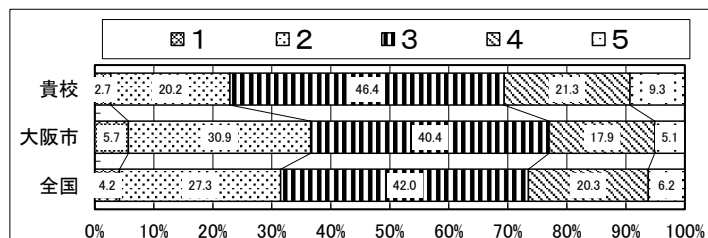


令和7年度 城陽中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

| | 平均IRTスコア |
|-----|----------|
| 学校 | 531 |
| 大阪市 | 489 |
| 全国 | 503 |



令和7年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

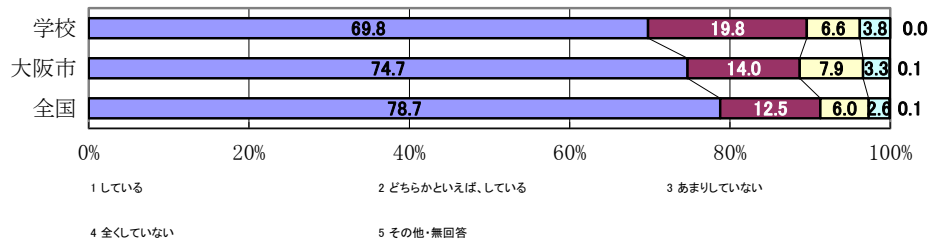
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

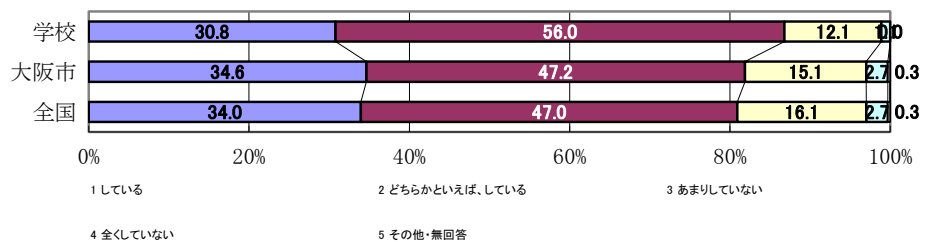
1

朝食を毎日食べていますか



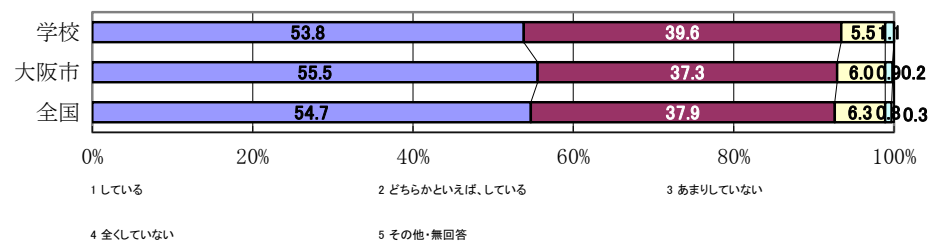
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



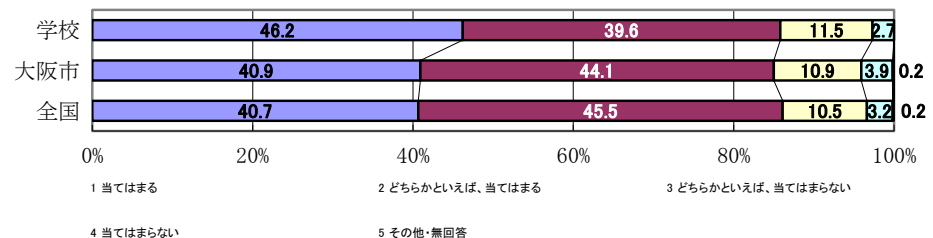
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



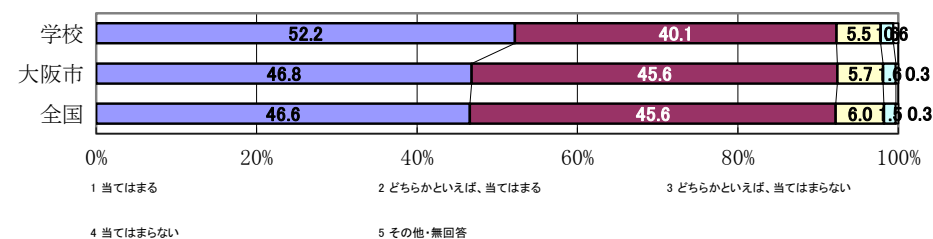
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



令和7年度 城陽中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

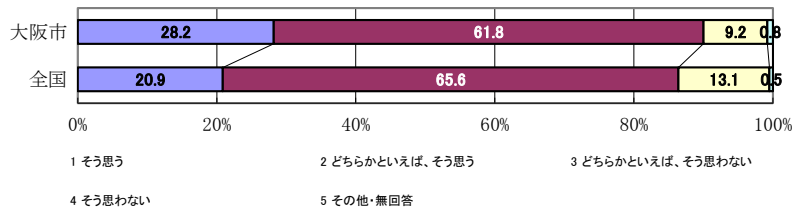
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

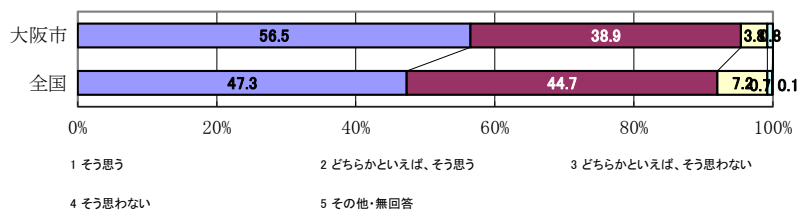
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

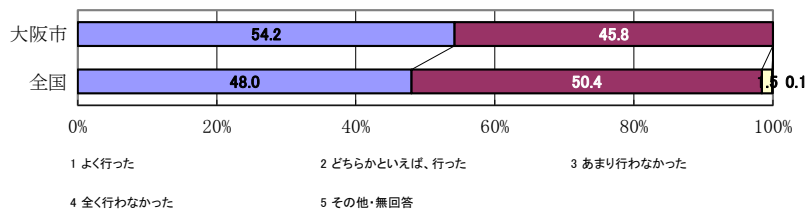
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

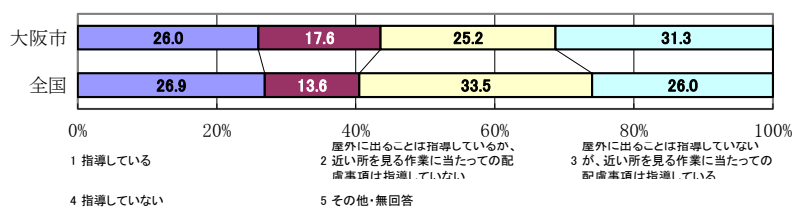
学校 「よく行った」を選択



10

近視の予防の一環として、学校の休み時間(昼休みを含む)や放課後などの時間(部活動の朝練・放課後練習を含む)に屋外に出ることや、読書や電子機器の使用などの近い所を見る作業に当たった配慮事項(対象から30cm以上目を離す・30分に1回は目を

学校 「指導していない」を選択



11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

学校 「月に数回程度行った」を選択

